

開店12年 所蔵楽器のコンサート Vol.1
記念



Yuko 久元 祐子 Hisamoto

プレイエル Pleyel エラール
Erard

2台のアンティーク・ピアノで聴くモーツァルト

2014年10月4日(土)

午後2時 開演

Cafe プレイエル 喫茶ホール

4,000円 要予約

(40名様限定)

お問合せ・お申込み

TEL 0263-92-8158

カフェプレイエル&ギャラリーやましる

使用ピアノ in Paris

プレイエル No.174215 1923年

エラール No. 95463 1909年



Mozart Program

Pleyel プレイエルで

- ・「ナンネルの楽譜帳より」メヌエット ト長調 K. 1e
- ・「ロンドンの楽譜帳より」 ト短調 K. 15p
- ・ 幻想曲 二短調 K. 397 (久元祐子補筆)
- ・ ボーマルシェの《セヴィリアの理髪師》のロマンス
“私はランドール”の主題による12の変奏曲 変ホ長調 K. 354

Erard エラールで

- ・ アヴェ・ヴェルム・コルプス K. 618 (リスト編曲)
- ・ ロンド 二長調 K. 485
- ・ ピアノ・ソナタ イ長調 K. 331 (トルコマーチ付)



久元祐子プロフィール

Yuko hisamoto

東京芸術大学音楽学部(ピアノ科)を経て、同大学院修士課程を修了。

ラトビア国立交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団などオーケストラ、室内楽団と多数協演。音楽を多面的に捉えるレクチャー・リサイタルは、朝日新聞・天声人語にも紹介される。

ショパン時代のプレイエル(1843年)、リスト時代のエラール(1868年)、創設時のベーゼンドルファー(1829年)のピアノを所蔵し、歴史的楽器の演奏会や録音に多数取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追求している。

2010年、ショパン生誕200年記念年には全国各地で、プレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて、天皇、皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。

2011年、ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、ベーゼンドルファー・アーティストの称号が与えられる。

2012年、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれ、リサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛される。

2013年、国立音楽大学楽器学資料館ピアノプロジェクトメンバーとして、モーツァルト時代(スクエアピアノ)、ベートーヴェン時代(ジョン・ブロードウッド)、シューベルト時代(ジャンツ)の歴史的楽器を使用した演奏会が大きな反響をよぶ。

2014年、サントリーホールにて、国立音楽大学90周年事業演奏会として「黎明期のピアノ ～パリ・ウィーン・ロンドンの名器たち～」に出演し好評を博す。

これまでにCD10作をリリースしている。《ハイドンとモーツァルト》《青春のモーツァルト》《ベートーヴェン“テレーゼ” / ベートーヴェン“ワルトシュタイン”》は新聞や雑誌で絶賛される。

著書に 《モーツァルトのピアノ音楽研究》 《原典版で弾きたい!モーツァルトのピアノ・ソナタ》 《モーツァルトとヴァルター・ピアノ》などがある。

国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

久元祐子 ピアノコンサート 2014年10月4日(土)2時

プログラムノート

～ プレイエルとエラールで聴くモーツァルト ～

メヌエット 長調 K1-e モーツァルト5歳の頃の作品です。

長年モーツァルト「最初の作品」として親しまれてきましたが、このメヌエットより前に作曲された作品が数曲発見されました。モーツァルトの子ども時代、ザルツブルクにはピアノフォルテはまだなかったと考えられており、チェンバロやクラヴィコードで、父レオポルトから音楽教育を受けました。

ロンドンの楽譜帳 より K15-p 短調

8歳のモーツァルトが旅先のロンドンで作曲した42曲からなる楽譜帳の中の一曲です。緊張感が溢れており、後年の名作、幻想曲 K475 短調や短調の交響曲の片鱗を思わせる閃きを感じられる小品です。

幻想曲 短調 K397

モーツァルトがウィーンに出てきた頃に作曲されたと考えられていますが、自筆譜が残っておらず、何の目的で誰のために作ったのか資料もありません。初版譜は未完で終っており、よく知られた10小節の補筆は、ライプツィヒのアウグスト・エバーハルト・ミュラーによって行われたと考えられています。

ポーマルシェの「セヴィリアの理髪師」のロマンス

私はランドールの主題による変奏曲 変ホ長調 K354

1774年、パリで作曲されました。フランスで人気あった旋律をもとにした12の変奏曲から出来ています。モーツァルトの自信作で、ウィーンに出てからもしばしば演奏したと伝えられています。

アヴェ・ヴェルム・コルプス K618 (リスト編曲)

1791年6月17日、バーデンで作曲された最晩年の教会音楽です。

バーデンの教会オルガニスト兼合唱隊長であったアントーン・シュトルへの贈り物でした。この美しい作品を、リストの編曲版でお聞きください。

ロンド 長調 K485

1786年1月10日、ウィーンで作曲されました。愛らしい主題が繰り返し登場しますが少しずつ色を変えながら移ろうように曲が進みます。

ピアノ・ソナタ 長調 K485

1783年、ザルツブルクまたはウィーンで作曲されたと考えられています。

ソナタの第1楽章は6/8拍子、アンダンテ・グラツィオーソの変奏曲、第2楽章はメヌエットそして第3楽章に有名な「トルコ行進曲」という珍しい楽章配置になっています。



久元祐子さん

所蔵楽器の演奏会

波田のカフェ 開店12年記念し

松本市波田のカフェ
プレイエル&ギヤラリ
ーやましろは10、11月
「開店12年記念 所蔵
楽器のコンサート」を
開く。10月4日はピア
ニストの久元祐子さん
(神戸市)が、アンテ
イクピアノ(エラー
ル社1909年製とプ
レイエル社1923年
製)を、11月8日はチ
エンバロ奏者の渡邊孝
さん(イタリア)が、
スピネットチェンバロ
(安曇野市穂高の吉岡
弘司さん2001年
製)を奏でる。

自身も欧州の歴史的
なピアノを所蔵し、シ
ヨパンやリストが奏で
たであろう当時の響き
を追求しているという
久元さん。モーツアル
トについての著書もあ
り、当日は久元さん補
筆の「幻想曲ニ短調」
など、モーツアルトの
作品を演奏する。渡邊
さんは、「甦(よみが
え)るルネッサンス末
期からバロック期のひ
びき」とし、バッハの
「フーガの技法」やス
ヴェーリンクの「我ラ
イン川に漕ぎ出し」な
どを演奏する。
両日ともに4000
円。午後2時開演、要
予約。定員は10月4日
が40人、11月8日が30
人。同店892・815
8(水・木曜定休)